

★エンジョイ・チーム部門

競技概要	エアロビックと各種ダンスや体操、ヒップホップなどを自由に組み合わせた振り付けをチームで楽しく踊る部門。 チームワークよくパフォーマンスを楽しんでいるか、といったエンジョイ度を中心に、音楽とマッチした服装や振り付けなど創造性やユニークさを評価する。		
年齢	年齢制限なし	参加資格	指導者の参加も可、JAF 選手登録不要
構成人数	3～10 名程度（性別を問わない）		
競技エリア	概ね 12m x 12m		
競技時間	2 分以内	使用曲	自由（戦争、暴力、宗教を想起させる曲は不可）
服装	原則自由。ただし、途中で着脱したりせず、最初から最後まで変わらない服装であること。帽子、スカーフ等の着用も可だが途中で落ちたり、外れたりしないものであること。戦争、暴力、宗教を想起させる衣装は避ける。		
演技構成	<ul style="list-style-type: none"> 以下の2つの必修動作をルーティンに組み込んで演技する。それぞれ最低 2 回連続で、メンバー全員が同じタイミングで実施すること。この時身体の向きや移動は自由 必修動作の実施順や使用回数は自由（例：2 回連続のジャンピング・ジャックを演技に 2 回組み込んで可） エアロビックのステップや動作の他、ダンス（ヒップホップ、フラダンス、民謡等）や体操とのコラボレーションも可 ステップ台の利用は可（台数は自由）だが、手具の使用は不可 <p>【必修動作】</p> <ol style="list-style-type: none"> キック、またはニー・リフト（ハイ・インパクトでもロー・インパクトでも可）：（キック）両脚を揃えた状態から、軸脚で弾みながら片脚の膝を伸ばしたまま前方（矢状面）に振り上げる。（ニー・リフト）片脚の膝を曲げたまま膝を持ち上げる。 ジャンピング・ジャック、またはスロー・ジャック、ランジ（片脚を前後または左右に出して戻す開閉）：（ジャンピング・ジャック）両脚を揃えた状態から、軽くジャンプして左右対称に脚を開いたり、閉じたりする 		
禁止動作	選手が直立で、1 人以上の選手を高く持ち上げたり、アクロバットのような動作は不可（側転のみ可）		
審判	JAF 認定審判員が判定。主任は B 級以上、審判数は 3 人以上を推奨		

- ❖ エンジョイ度を中心に、採点后、上位チームにそれぞれ適した賞名をつけて発表
- ❖ 審査は 10 点満点を 0.1 単位で採点。最終得点は、採点した審判員の得点の平均値から主任審判員の減点を引いた得点となる。

点数	エンジョイ度	評価内容
10.0	優れている ★★★★★	音楽を活かしたコレオグラフィーやフォーメーション、服装が独創的で表現力の高いユニークな作品。メンバー全員が演技を心から楽しんでいて観る人をも魅了するエンジョイ度抜群のパフォーマンス。
9.0	大変良い ★★★★★	音楽を活用し、コレオグラフィーやフォーメーション、服装などに多くの工夫が見られる作品。必修動作の創造性も高い。メンバーの一体感が伝わるエンジョイ度の高いパフォーマンス。
8.0	良い ★★★★	音楽と動きがマッチ。フォーメーションや必修動作にも工夫が見られる作品。メンバー全員がまとまりよく動いて、チームとしてエンジョイしているパフォーマンス。
7.0	普通 ★★★	フォーメーションの変化や必修動作はシンプルだが、全体的にはメンバーのそれぞれが音楽のリズムにのって楽しげに動いているパフォーマンス。
6.0	やや劣る ★★	音楽がBGMに近く動きとの関連性が低い。フォーメーションの変化に無理があったり、全く工夫がなかったりする。表現する意欲も元気さも全く感じられないエンジョイ度の低いパフォーマンス。
5.0	劣る ★	音楽が完全なBGMとなってしまう、動きも全く合っていない。フォーメーションは変化せず定位置のまま。個人がバラバラに動いているだけでエンジョイ度がかなり低い残念なパフォーマンス。

- ❖ 賞名（例）
 - ・ MVP 賞（参加チームと審判員の投票により決定）
 - ・ 優秀賞
 - ・ チームワーク賞
 - ・ コリオグラフィー賞
 - ・ ミュージカルティイー賞
 - ・ パフォーマンス賞
 - ・ オリジナル賞
 - ・ スマイル賞

※得点・審査結果についての抗議/質問は一切受け付けない。

主任減点

- ・ 必修動作を行わなかった場合: -0.5 点/動作（2 つ行わない場合は -1.0 点）
- ・ リフトの実施: -0.5 点/回
- ・ 側転以外のアクロバットのような動作を行った場合: -0.5 点/回

※JAF が主催する全国大会では 12 メートル×12 メートルの公式競技用フロアを使用予定。事前に JAF まで申請すればステージ前の空きスペースも使用可能。
 ※都道府県連盟等が主催する大会では、主催者が用意する競技エリアに応じて参加人数等の変更あり。